

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
専門基礎	災害医療論	1	30	1年次後期	京都第二赤十字病院 赤十字救急法指導員 専任教師

テキスト(発行所)	日本赤十字社 災害時のこころのケア 小冊子 赤十字救急法—救急法基礎講習教本(講習時当日配布) 救急法講習教本(講習時当日配布)
-----------	--

学習のねらい	災害医療の基礎的知識を理解し、赤十字災害医療活動に必要な基礎的知識、技術、態度を学ぶ。また災害医療における赤十字看護師の役割を考えることができる。
学習目標	1. 災害医療の基礎的知識を理解する。 2. 災害時のこころのケアの考え方、被災者への接し方について理解する。 3. 赤十字看護師として、医療施設内外での緊急対応能力を向上させるための知識、技術、態度を習得する。 4. 赤十字救急法救急員の資格を取得する。

学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	災害医療概論	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の種類、災害医療 ・日本赤十字社の災害救護活動 ・災害救護活動の体制 ・災害サイクル など 	救急法指導員 講義
2回	こころのケア	<ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社のこころのケア ・被災された方々への接し方 ・災害時のこころのケア 	専任教師 講義
3回 ～ 15回	赤十字救急法救急員 養成講習会 災害救護に関する研修	<ul style="list-style-type: none"> ・赤十字救急法とは ・一次救命処置 (心肺蘇生法・AEDを用いた除細動) ・きずと止血 ・包帯 ・骨折、脱臼、捻挫など ・搬送 ・トリアージ ・総合演習 ・学科検定 ・実技検定 	指導員の講義と実技検定

単位認定の方法	1. 30時間のうち、24時間以上の出席があること ただし、3回～15回目は全時間出席しなければ、赤十字救急法救急員の資格取得のための検定を受けるのに不利になるため、欠席しないよう努力すること。 2. 赤十字救急法救急員の資格取得のための検定に合格し、本科目の認定とする。
---------	--